

山田太門（やまだ たもん）

慶應義塾大学名誉教授。

1944年東京に生まれる。

1968年慶應義塾大学経済学部卒業、1973年同大学院博士課程修了。

1970年慶應義塾大学経済学部助手、1976年慶應義塾大学助教授を経て1989年  
慶應義塾大学経済学部教授。

2010年より慶應義塾大学名誉教授。

この間、米国プリンストン大学、及びイェール大学 PONPO 研究所に客員研究員として  
留学。また日本経済政策学会常務理事、文化経済学会<日本>会長などを歴任。

専攻 公共経済学、財政学、文化経済学

主要著作：

『財政学の本質：ハイエク主義の政治経済学』慶應義塾大学出版会、2013年

『公共経済学』（日経文庫）日本経済新聞社、1987年

『経済学の古典(下)近代経済学』（共著）有斐閣、1978年

「公共部門の短期及び長期均衡分析」『三田学会雑誌』82巻1号、1990年3月

訳書：

J.M.ブキャナン著『選択のコスト』春秋社、1988年